

朝をひらく

永田 円了
真国寺住職



たこの問題は、全国の高校でも発覚が相次ぎ、その後全国の公立、私立600校を超える高校で発覚、国会でも大きな議論を呼んだ。

これまで大事になる前に、なぜ止めることができなかったのか。それは誰も悪魔の役割をやる人がいなかったからである。タテの人間関係で構成される日本社会、へたに逆らっては自分の身が危ない、がまん、がまん、と保身態勢をとる。いま社会を騒がせている日本相撲協会の不祥事も、起きるべくして起きた、悪魔の代弁者不在の有り様である。

成票388票、反対1票だった。米国全体が日本を敵国として殺気立っているさなか、この勇気ある1票を投じた女性議員がいた。モンタナ州選出の下院議員ジャネット・ランキン氏である(「一票の反対」文芸春秋)。空気に流されない人がいる。身体をはって悪魔の代弁者の役割をする人がいる。

ああ、また凶だ！これで4年続けて凶。真国寺恒例の新春おみくじの会でのごとこま。不吉な文言で人の心をいたぶる凶、まさに悪魔のささやき。新年早々憂鬱な気持ちになる。しかしこの悪魔の存在は、実は人間社会にとつて必要かつ大切な役割をするのである。

西洋社会での悪魔の歴史は長い。古くはローマ・カトリックで教義を定める際に、意図的にその教義に反対する役割をつくった。議論の隙間をチエックし、より強固な教義に鍛えていくために、「悪魔の代弁者」(Devil's Advocate)をあえて創ったのである。

悪魔の代弁者

キリスト教においても悪魔は大切な役割をもつ。神によってつくられた悪魔は、人間に苦悩を与え、しかしその苦しみを通して深い信仰に導こうとする。

日本社会では、悪魔の役割は嫌われる。誰もすすんで悪魔の役割を引き受けようとはしない。そのため思いもよらない問題が起る。

2006年に起こった高校単位未履修問題(世界史等未履修)、富山県立高校に端を発し

1941(昭和16)年12月、日本のハワイ真珠湾攻撃によって米国が日本に宣戦布告をす。上院は満場一致、下院は賛

「空気」壊す大事な役割

冒頭のおみくじの話。凶をひいた女性は不安そうに「先生、4年連続の凶、いったいこれをどう受け止めればいいのですか?」。みくじの挿絵には、感情あらわにして刀を振り上げる侍が描かれている。悪魔はささやく、あなたは今までに本当に身体ごと何かにぶつかって、理性、感情も飛び越えて、取り組んだことありますか? ただ常識の中だけで生きていますか? 悪魔を演じたことありますか? 本当に生きていますか?